



令和 4 年 2 月 1 日

表彰団体決定！「わが村は美しく－北海道」運動 ～第10回コンクールの優秀賞13団体、奨励賞20団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクールを開催し、**全道75団体（60市町村）の応募の中から選考の結果、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞13団体、奨励賞20団体を表彰することを決定しました。**

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年より、2年に一度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞13団体、奨励賞20団体）を表彰します。

なお、今回表彰された優秀賞の中から、来年度（令和4年度）の大賞審査により、第10回コンクールの大賞を決定します。

また、共催団体である「NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワーク」が決定したNPO特別賞についても、本日、NPOより公表されます。

◇ 稚内開発建設部管内からは、6団体の応募があり、以下の2団体が受賞されました。

- ・ **優秀賞** 稚内農業協同組合 稚内牛乳 （稚内市）
- ・ **奨励賞** 就労継続支援B型事業所稚内市北光園 （稚内市）
（受賞団体の概要は、別紙3及び別紙4のとおり。）

【「わが村は美しく－北海道」運動とは】

「わが村は美しく－北海道」運動とは、北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていき、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

土地改良情報対策官

堀米 聡

電話 0162-33-1186

土地改良情報対策官付農業調査専門官 木村 信博

電話 0162-33-1187

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント https://twitter.com/mlit_hkd_wk



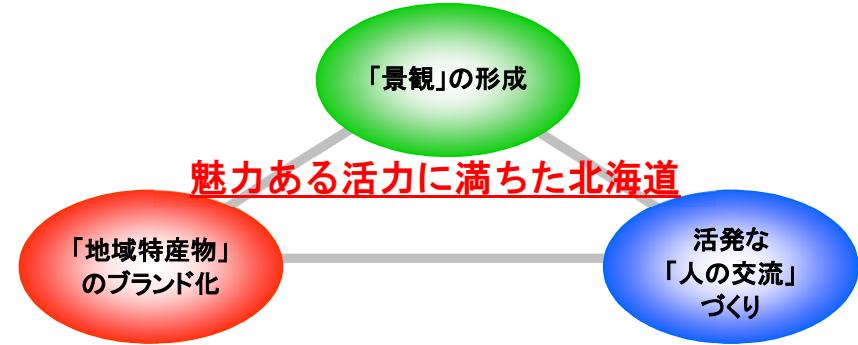


「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

【参考】第9回コンクール大賞受賞団体

特定非営利活動法人 サトニクラス【月形町】
農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



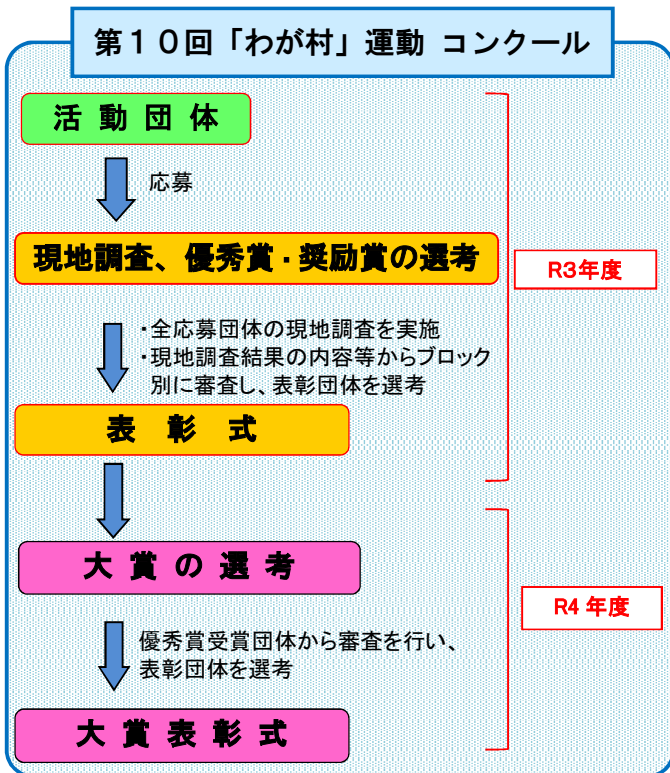
北海道真狩高等学校【真狩村】
「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げようー活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます



多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「The JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信

【別紙 2】



令和 4 年 2 月 1 日
北海道 開発 局

「わが村は美しくー北海道」運動第 10 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年より 2 年に一度コンクールを開催しており、今回で 10 回目となります。

第 10 回コンクールには全道から 75 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 20 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

○第 10 回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 60 市町村から 75 件（団体）の応募

(2) 審査経過

- ▶令和 2 年 12 月～令和 3 年 6 月：募集
- ▶令和 3 年 7 月～11 月：全道 10 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)
- ▶令和 3 年 7 月～12 月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から表彰団体を選考)
※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）[13 団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 農猿（南幌町）
- ▶ そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）
- ▶ 奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部×奥尻ワイナリー（奥尻町）
- ▶ ベジタブルワークス株式会社（真狩町）
- ▶ 富良野市立樹海中学校（富良野市）
- ▶ けんぶちキヌア生産普及組合（剣淵町）
- ▶ 北のなのはな会（安平町）
- ▶ 有限会社 仁成ファーム（釧路市）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- ▶ えづらファーム（遠軽町）
- ▶ 北海道遠別農業高等学校（遠別町）
- ▶ 稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

【別紙 2】

(2) 奨励賞* (各開発建設部長表彰) [20団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

- ◇札幌ブロック [2団体]
 - ・北海道当別高校 ボランティア局 (当別町)
 - ・南区農園ガイドの会 (札幌市)
- ◇函館ブロック [4団体]
 - ・やくも元気村 (八雲町)
 - ・七飯の食を考える会 (七飯町)
 - ・福島町千軒地域活性化実行委員会 (福島町)
 - ・やまの会 (せたな町)
- ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・北海道倶知安農業高等学校 (日本酒プロジェクト) (倶知安町)
- ◇旭川ブロック [4団体]
 - ・北海道旭川農業高等学校食品科学科 あったか旭川まん研究グループ (旭川市)
 - ・特定非営利活動法人 もりねっと北海道 (旭川市)
 - ・JAたいせつ田んぼアート実行委員会 (旭川市)
 - ・当麻土地改良区 (当麻町)
- ◇室蘭ブロック [1団体]
 - ・沙流太ほおずき絆の会 (日高町)
- ◇釧路ブロック [2団体]
 - ・北海道標茶高等学校 牛乳班 (標茶町)
 - ・北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム (厚岸町)
- ◇帯広ブロック [2団体]
 - ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班 (士幌町)
 - ・メモロピーナッツ (芽室町)
- ◇網走ブロック [2団体]
 - ・北海道美幌高等学校 環境改善班 (美幌町)
 - ・特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会 (西興部村)
- ◇留萌ブロック [1団体]
 - ・上田ファーム株式会社 (苫前町)
- ◇稚内ブロック [1団体]
 - ・就労継続支援B型事業所稚内市北光園 (稚内市)

(受賞団体名は順不同です)

【別紙 2】

【参考】

(3) NPO特別賞※（「NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク」理事長表彰） [6団体]

※NPO特別賞：総合的には評価されなくても、特筆すべき特徴を有する活動団体をNPOが選定。

- ◇札幌ブロック [1団体]
 - ・北広島市水稲赤毛種保存会（北広島市）
- ◇函館ブロック [1団体]
 - ・えさし水土里の会（江差町）
- ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・黒松内フットパスクラブ（黒松内町）
- ◇旭川ブロック [2団体]
 - ・ピリカ株式会社（比布町）
- ◇釧路ブロック [1団体]
 - ・別海町女性農業士会（別海町）
- ◇留萌ブロック [1団体]
 - ・フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）

（受賞団体名は順不同です）

表彰団体の活動概要(優秀賞) [13団体]

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	農猿	南幌町	南幌農産物の認知度の低さに疑問を抱いた若手農業者らが地域おこしや地産地消を目的に活動を開始。“農業を身近に感じられるイベント”を目指した農業型体験イベント「野祭～YASAI」を開催。「ゆめびりか」の米粉でドーナツを製造する6次産業化や、軽トラの荷台に畑を作って収穫体験する等の食育にも力を注いでいる。
	そらち南さつまいもクラブ	由仁町 栗山町	さつまいもに着目し、新たな産地化を目指して由仁町、栗山町の若手農業者が町の垣根を越えて設立。品種比較試験と食味審査等から品種は「べにあずま」、ブランド名を「由栗いも」(ゆっくりいも)に決定。両町で「さつまいもフェスティバル」を開催し、町内飲食店とのオリジナルメニュー開発・提供等を実施している。
函館	奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部 ×奥尻ワイナリー	奥尻町	奥尻高校は部活動の遠征費の確保と奥尻町の活性化に向けてオクシリイノベーション事業部を設立し、奥尻高校のTシャツの作成や商品ラベルの提案を行い函館での販売活動などにより地域特産品のPRに貢献している。(株)奥尻ワイナリーは、「離島」という条件に起因する若い人などの人口減少を食い止めるための地域興しの取組が原点。年間を通じた雇用機会の確保につながるほか、札幌の大学生を招いて地場の食材を使った料理の提案などの食育活動にも力を入れ、町内外との交流も生まれている。この2団体がわが村コンクールのへの応募をきっかけに共鳴し、協働の取組に発展した。
小樽	ベジタブルワークス株式会社	真狩村	真狩村の風土を生かした7種類の野菜を特別栽培での生産・仕入れ・加工販売及び採りたて野菜をできる限り早くに届けるため、自社便を運行して首都圏へ直送している。また、後志総合振興局と連携して、冬期間スキースキーリゾートで働く国内外の若者達を雇用しながら、後志地域全体で通年働ける仕組み作りに協力している。
旭川	富良野市立樹海中学校	富良野市	地域の産業である畑作について学ぶ、「カボチャの栽培や販売」、地域のごみ拾いを行う「クリーンタウンプロジェクト」、SDGsの実践として「古紙・空ビン回収」、地域の景観の素晴らしさを見直す「ふらの東山フォトコンテスト」への参加など、様々な取り組みを、地域とともに実践している。
	けんぶちキヌア生産普及組合	剣淵町	キヌアの生産振興を図るため、栽培から収穫、製品化に関する一連の技術研究に取り組むとともに、生産者の所得向上を図るため、キヌアが備える優れた栄養成分や機能性についてPRしながら、市場調査や実需者との意見交換を行い、販売先を開拓している。
室蘭	北のなのはな会	安平町	菜の花関連特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料(バイオコークス)利活用の研究、菜の花による新たな観光地化を主な取組みとし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換にも取り組んでいる。また、あびら観光協会主催の「菜の花さんぽ」に、後援として関わっている。
釧路	有限会社 仁成ファーム	釧路市	事業拡大を進める中、従業員の労働体系をどのような形にすべきか検討していたところ、地域の福祉事業者等と協議する機会があったため、2017年に設立された音羽協働センターに、牛舎内作業の一部委託を実施。障害を抱える人たちに通年の作業を確保している。
帯広	北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会	帯広市	十勝の農業資源を活用し、十勝の企業と連携することで、地域性にあふれ地域に求められる商品開発を行っている。今回は、老化に伴うフレイル予防効果やスポーツに励む若い世代をターゲットにして、オリゴ糖(DFAⅢ)とヨーグルトを使用した商品の開発・販売の事業化に向けて研究を進めている。
	ほんべつ豆まかナイト実行委員会	本別町	本別町の特産物である「豆」をテーマに、節分の時季にあわせ、「厄除け豆まき」を柱に多彩なイベントを開催し、豆のまち本別町から、豆の魅力を町外へ発信している。イベントで使用する大豆は、食育の一環として、地元の子供らが、種まきや収穫の体験を行っている。
網走	えづらファーム	遠軽町	42haの農地での畑作農業を基幹に、農業や農村の素晴らしさを広める為の様々な事業を展開している。 また、付加価値をつけた作物の通信販売・住込みボランティアの受入れ・農家民宿の経営・農場アクティビティの提供(畑ツアー、収穫体験、ピザ窯料理等)・農業を通じた企業研修の受入れ(東京のIT企業等)・農作物加工品の製造販売(冷凍じゃがいもの販売)を行っている。
留萌	北海道遠別農業高等学校	遠別町	遠別農業高校は宗谷、留萌管内唯一の農業高校として、日頃からプロジェクト学習通して地域の農畜産物や水産物に着目した商品の開発や、有機JAS取得とGAP認証を地域に先駆けて取り組むことで、農業を中心とした地域産業振興につながる専門学習を進めている。多くの場面で地域と連携することで、日頃の学習の必要性を再認識するとともに学習の成果を披露する場になっている。 遠別農業高校は遠別町はもとより、留萌管内地域課題の解決と活性化を目的として専門学習を行っている。
稚内	稚内農業協同組合 稚内牛乳	稚内市	稚内の牛乳の美味しさを地元の人に知ってもらいたいとの想いから、生乳生産から乳製品製造を一貫して行う「稚内牛乳」を考案。牛乳・アイスクリーム・ヨーグルトなどを販売し、稚内ブランドの普及につながる活動を行っている。

表彰団体の活動概要(奨励賞) ~1 [20団体]

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	北海道当別高等学校 ボランティア局	当別町	「当別青春フットパス」は、生徒が町の魅力を味わえるコースを設定し、当日もガイドを務めている。昼食は、家政科食物調理コースの生徒が当別産食材で作った料理を提供し、食後は、吹奏楽部や茶道部など文化系部活の活動披露や、町内で自然保護や歴史研究に取り組んでいる方によるミニ講座を開催している。
	南区農園ガイドの会	札幌市	砥山(とやま)地区のPRや活性化を目指し、農業者自身が農園を案内するガイドツアーやイベントを実施するために発足。地区の全果樹園、観光スポット、観光協会、ホテル関係者などが連携して、農業だけではなく、地元の文化や歴史を含めた地域活性化による「まちづくり」を視野に入れた取り組みを目指している。
函館	やくも元気村	八雲町	障がい者を含め誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりを目指し、住民がふれあう共生型事業を展開、就労訓練で障がい者自立を目的とする。直営農園作業、農漁業作業受託、古民家改造宿泊施設運営(農漁業体験有)、軽食喫茶運営を実施。八雲の魅力を世界に向けて発信、令和2年7月連絡協議会「Discover Southern Hokkaido」設立。
	七飯の食を考える会	七飯町	平成28年1月「弁当の日」を提唱する竹下和男さんを招いて「組」を組みを開始。「食」をテーマとして一貫した学習活動を行っている。また、農家の畑や加工場の見学も行っている。地域の方々とのふれあいの場としても有効で料理教室や講師を招いてセミナーを開催し学ぶ機会としています。
	福島町千軒地域活性化実行委員会	福島町	かつて林業・炭焼きが主産業だった千軒地域を活性化すべく、福島町が「千軒地域活性化構想図」作成、地域資源を活用し、地域経済発展を目的として活動。松前藩主が通った松前～函館旧街道を活用し「殿様街道探訪ウォーク」開催。福島町松前神楽保存会が神楽継承者(小中学生)により松前神楽(国指定重要無形民俗文化財)を奏上する「千軒そばの花鑑賞会」を開催している。
	やまの会	せたな町	自然農法・循環型農業実践農業者が集まり結成。家畜に抗生物質を与えず、健康な動植物を育て健康な作物と肉を作りながら、地域の学校の食育講師、大学の課外授業受け入れ等、食・農地域作りを実施。レストランと連携し「オーガニックラウンジ」開催、函館市内「世界料理学会」と交流し料理イベント、せたな町役場と連携しオーガニック料理教室開催。全国映画「そらのレストラン」のモデルとなる。
小樽	北海道倶知安農業高等学校 (日本酒プロジェクト)	倶知安町	地域の魅力ある特産品を作り地域産業の振興・発展に貢献すると共に、地域外国人との共生を目指して地域活性化プロジェクト「酒米の栽培から地域の逸品「日本酒」造りへの挑戦」を始めた。また、「日本酒」造りで出る副産物の酒粕の消費拡大と食品ロス削減を目指して酒粕を有効活用する活動にも取り組んでいる。
旭川	北海道旭川農業高等学校食品科学科 あつかわ旭川まん研究グループ	旭川市	地元産の農畜産物の高付加価値化研究とPR・普及を進めることで生産者所得の向上を図り、地域産業を活性化する活動に取り組んでいる。
	特定非営利活動法人 もりねっと北海道	旭川市	森林や林業と様々な市民・団体をつなぎ、自然の力を持続的に生かす森づくりを進めることで、健全でゆたかな森を未来に引き継ぎ、森の恵みを生かす地域経済・社会のしくみを築くことを目的として、森づくりや森の管理、薪暮らし、森遊びやものづくりなど、森と人に関わる活動を行っている。
	JAたいせつ田んぼアート実行委員会	旭川市	色の異なる「稲」を使って水田に絵を描く「田んぼアート」を制作している。田植え作業は例年各関係団体や小学生を含め、約300名の協力のもと行っている。多くの観光客に足を運んでいただき、生産者と消費者を結ぶ交流の拠点と、農業・農村地域の魅力を発信する場として活動している。
	当麻土地改良区	当麻町	農業農村の持つ多面的機能や土地改良施設の役割等について子供たちを通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に田んぼを総合学習(教室)の場とした「田んぼの教室」や「土地改良施設見学会」を行政及び関係団体、小学校と連携して実施している。
室蘭	沙流太ほおずき絆の会	日高町	食用ほおずきを町の特産品に育てるため「フルーツほおずき」と名付け、知名度向上・販路拡大を図る等地域の元気再生に向けて活動している。栽培管理、加工品の試作、試験販売を地元の高校と連携して実施し、高校生にとっても貴重な体験学習の場となっている。また、新たな加工品の試作を企業に委託し商品開発にも取り組んでおり、特産品作りによる地域おこしを行っている。

表彰団体の活動概要(奨励賞) ~2

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
釧路	北海道標茶高等学校 牛乳班	標茶町	標茶町を盛り上げる、まちを元気づけることを目的に、高校生が主体となってそれぞれの得意なことを活かし、地域の方々の協力を得ながら、さまざまな方面からのアプローチを行っている。先輩方の活動を引き継ぎ4年目となる現在は、町の新たな目玉となる特産品開発や小さいお子さんに向けた牛乳の魅力を伝える紙芝居、牛乳の消費拡大を目指し、料理動画の制作、町を題材にして、町をPRするブラウザゲームの開発を行っている。
	北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム	厚岸町	アナジャコのアサリへの影響について、あさり島と厚岸湾内の干潟で調査を行っている。これまでの結果、アナジャコの巣穴の多いところにはアサリが少ない傾向が示されたが、アナジャコがアサリに悪影響を与えているとまでは言い切れなかった。今後はデータの取り方などを工夫して、更に調査を続けていく。 アナジャコを商品として売り出すために、アメリカーナソース、姿焼きせんべい、及びがん漬(塩辛)を開発した。これらの商品は専門家のアドバイスを受けて改良を重ね、地元の水産加工会社の社長や道の駅の支配人に対してプレゼンテーションを行った。今後、更なる改良を重ねて商品化を目指したい。
帯広	北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町	士幌町の基幹産業である酪農と地域ブランドとして根付いている本校生産のヨーグルトに着目し、地元企業と金融機関と連携しながら、地域で生産されている規格外のカボチャを利用したチーズケーキの商品化・販売など、地域の魅力発信や産業振興に取り組んでいる。
	MEMロビーナッツ	芽室町	地域が新たな落花生の産地になることを目指して、生産とPR活動を行っている。イベント等を通じ、落花生の収穫体験や塩ゆで落花生などの試食・販売を行っているほか、芽室町消費者協会と連携し、落花生料理教室の開催などの活動もしている。
網走	北海道美幌高等学校 環境改善班	美幌町	網走川流域に生息する特定外来生物のウチダザリガニを駆除し、流域の生態系の保全を行っている。また、駆除したウチダザリガニの食用や有機肥料として有効利用する方法を研究している。さらに、地域住民向けにウチダザリガニ交流会を開催し、生態等を説明した紙芝居、駆除体験及びウチダザリガニの試食等を行っている。その外、「網走川流域の会」と連携し、網走川流域での清掃活動、環境調査やマイクロプラスチック調査及び網走湖の環境浄化試験などに取り組んでいる。
	特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会	西興部村	「害獣」としてのエゾシカを地域の「資源」として活用するため、西興部村全域に「猟区」の認可を受け、ガイド付きの狩猟によりエゾシカを地域の自然資源として積極的に管理しながら有効活用する試みを始めた。主に入猟事業、狩猟者教育、環境教育、調査研究の4つの事業の実施を通じて、村の活性化を行っている。さらに、「私たちが獲り、私たちがなめし、私たちが創る」をコンセプトにこれまで廃棄処分していたシカ皮を活用した村内で完結する特産品の開発・製作に取り組んでいる。
留萌	上田ファーム株式会社	苫前町	安心安全をモットーに、自社で主原料の生産から加工販売まで全てを担うことが大切であると考えて6次産業を開始。苫前の名産でもあり北海道の郷土料理でもある「かぼちゃ団子」の開発に着手。かぼちゃ団子を全国に！という思いから、丹精込めて栽培した南瓜を自社工場で団子に加工し、販売を開始した。 平成30年にはかぼちゃプリンを、令和3年には自家製あんこを包み込んだ、かぼちゃ団子 あんこ入りと、特別栽培ゆめぴりかの玄米茶を発売した。かぼちゃ団子プレーンは、北のハイグレード食品2020に選定された。 苫前中学校総合学習においても地域の特産であるかぼちゃを使用した、かぼちゃ団子の作り方を指導。地域の子供たちへの食育にも貢献している。
稚内	就労継続支援B型事業所稚内市北光園	稚内市	福祉施設屋内に通年で水耕栽培装置を稼働させる工場を設置し寒冷地の宗谷では珍しいフリルレタスの栽培を実施。栽培されたフリルレタスは「最北の野菜工場ひかり菜」のブランドで市内スーパー等に出荷され高評価を得るなど農福連携に資する活動を行っている。

【参考】表彰団体の活動概要(NPO特別賞) [6団体]

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	北広島市水稲赤毛種保存会	北広島市	寒地稲作発祥の地である北広島市において歴史的に重要な水稲赤毛種を絶やしたくないとの声から保存会として発足。赤毛種の保存・栽培に取り組み、旧島松駅通所の見本田を市内小学校の体験学習に活用し、田植え、稲刈り、足踏み脱穀、おにぎり作りまでの農業体験を通じた食育にも力を入れている。
函館	えさし水土里の会	江差町	地元農産品を使った特産品の開発とその販路拡大を目的としている。特産品の開発により、地域に伝わる伝承食品や食と農業に係る伝承文化の継承を行うとともに、特産品の販売を通じ農家以外の一般の人たちにも地域の伝承文化や農業について広く理解してもらうことを目指している。
小樽	黒松内フットパスクラブ	黒松内町	地域が維持してきた北限のブナをシンボルとする黒松内町の豊かで美しい自然景観と農村景観、地域の歴史・文化を活かした歩く小径「フットパス」の活用を図ることで、町内外の方々に楽しんでもらい地域の体験交流観光の発展に寄与することを目的とした活動を行っている。
旭川	ピリカ株式会社	比布町	ソーシャルファーム(障がい者も健常者も共に働く会社)を目指して、自然と人に優しい会社を目指して自然栽培でのトマト、ミニトマト、紫蘇などの野菜の生産、加工を行っている。ピピカフェ比布駅では、地元の特産物の物販や地元の食材などを使った食事を提供しており、地元の人々の交流の場になっている。
釧路	別海町女性農業士会	別海町	農業の振興を推進し農家生活の改善や農村文化の向上を図るため、酪農畜産に従事する女性が地域発展のリーダー的役割を果たし、別海町の活性化に寄与する観光農園を管理・運営している農園などの視察や、乳製品を使用したレシピを考案・試作・ミルクレシピのパンフレット化や出前授業を行い、酪農業を広く認識してもらう活動を行っている。
留萌	フレッシュ市場「花菜夢」	遠別町	北限の稲作地であり、畑作地である遠別町で育てたおいしい農産物を多くの方に知っていただき、遠別町の農産物をより多くのところで消費していただくことを目的に、直売所「フレッシュ市場 花菜夢」を開設。また農産物は、「安全・安心」を基本理念に、低農薬で手間隙をかけ大切に育て、その日の朝に収穫した一番おいしい状態で提供し、多くの消費者に受け入れられるよう進めている。



優秀賞

稚内市



稚内産生乳100%使用の「稚内牛乳」と「のむヨーグルト」

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

稚内農業協同組合 稚内牛乳

【稚内市】

稚内の風と大地が育んだ牛乳と乳製品です。

はじめは？

稚内市は、日本でも数少ない放牧型酪農の適地です。しかし、大消費地から遠いため、生産された生乳はすべて加工用として使用されてきました。牛乳の消費低迷が叫ばれている中、「稚内のおいしい牛乳を知ってもらいたい」「おいしい牛乳が生産される稚内の素晴らしさを知ってもらいたい」という願いから、2007年4月から「稚内牛乳」の生産・販売を始めました。

おもな活動

生乳生産から乳製品製造までを一貫して行い、市内の菓子メーカーにも稚内牛乳を提供し、パンやプリン等の安心・安全な食材の商品化を進めています。

市内の小学生を対象に、出前授業やバター作りの体験学習をしており、生乳の特徴や牛乳・乳製品の物流、食生活との関わりについて知識を深めてもらっています。牧場見学では搾乳体験などにより生産現場に直に触れることで、命と食の大切さについても学んでもらいます。



バター作り体験で生乳と食生活の関わりについて学びます



牧場見学では「命と食」についても学習します

ここが自慢

【稚内ブランドとして地域振興にも貢献】

稚内牛乳は、放牧型酪農でのびのびと育った牛から作られています。また、ノンホモ低温殺菌(65℃・30分間)によって、牛乳本来の風味を生かしています。

稚内牛乳のおいしさは「自慢すべき素晴らしい自然」から生まれることを知ることで、地元の豊かな自然環境を再認識できるとの想いから、市内外を問わずPR活動を行っています。

稚内牛乳及び各種乳製品は、日本最北の街・稚内の魅力を伝える「稚内ブランド」に認定されており、市内のホテルや利札航路フェリーでの提供などを通じて、稚内市の観光PRにも貢献しています。



稚内牛乳と道産品が主原料の手作りアイスクリーム

連絡先

代表者名：板垣 和久さん／設立：2007年／会員 ー名

住所：稚内市潮見1丁目5番25号

電話番号：0162-34-6400

F A X：0162-34-6201

E-mail：milk@jawkkana1.jp

U R L：http://jawkkana1.jp/



奨励賞



稚内市



屋内完全閉鎖型水耕栽培により生産されるフリルレタス

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

就労継続支援B型事業所 稚内市北光園

【稚内市】

「最北の野菜工場 ひかり菜」でフリルレタスを栽培

はじめは？

就労継続支援施設が通所形式になったことを契機に、園舎未使用部分の有効活用と通所利用者の工賃向上を目的として、平成29年より通年栽培可能な屋内完全閉鎖型水耕栽培事業を開始しました。



播種から収穫まで行います

ここが自慢

【新鮮で安心・安全な野菜を供給】

食の安全や環境保全に取り組む工場に与えられるJGAP認証を宗谷管内で初めて取得しました。

稚内市のみならず、浜頓別町や幌延町、利尻・礼文まで販路を拡大し、最北の地で新鮮な無農薬野菜を提供しています。

事業所利用者の一層の自立に向け、事業を展開していきます。



ロゴをペイントした配達用車両

おもな活動

障害や年齢、体力等の理由から企業等で働くことが困難な方が自分のペースで働くことができる「農福連携」の取組を実践しています。

工場では5台の栽培装置を稼働させ、全自動管理システムにより液肥を制御し、24時間体制で年間約8トンのフリルレタスを収穫しています。

徹底した衛生管理により無菌状態を保持し、約2週間日持ちがするので消費者からも好評です。



稚内市内のスーパーなど20以上の店舗で販売しています

連絡先

代表者名：中川裕行さん／設立：2011年／会員：40名

住所：稚内市富士見5丁目1179番地の1

電話番号：0162-28-1224

F A X：0162-28-1226

E-mail：w-hokkouenn-1224-sinnsyou@yellow.plala.or.jp

URL：http://wakkanai-fukusijigyodan.com/